

8月発刊

防災は最大の環境保全である！

# 環境防災学

—災害大国日本を考える文理シナジーの実学—

富士常葉大学名誉教授・工博 竹林征三 著

A5判・総240頁

著者紹介価格2,800円(税・送料込)[定価3,150円]  
5部以上ご購入の場合は 1部2,600円(税・送料込)といたします

技報堂出版 刊

## 災害大国・日本の環境を考える処方箋

「環境防災」とは何か。全く関係のない「環境」と「防災」という2つの概念をただ並べたものではない。この2つの概念は、密接不可分な関係にあり、互いに補完し、連関しなければ、健全な体系にならない宿命にある。

今回の東日本大震災を見るまでもなく、災害は環境破壊の最たるものである。災害を防ぎ減らそうとする防災は、環境保全の最も根幹をなす対策である。したがって、防災を考える時、望まれる環境の形成に如何に資することができるかという視点が最も重要な目標であらねばならない。

### はじめに—環境防災として論ずること

#### 一 環境とは何か、人為と自然を考える

1 環境とenvironmentの語源を考える／2 環境概念は「中心」か「周囲」か／3 環境の主体は何か／4 エコロジーのエコ／5 環境保全・創造・回復の概念／6 自然環境の価値と保全の動機・考え方／7 ファジーな人為と自然の概念／8 natureは自然にあらず／9 東洋と西洋の環境の概念／10 生物の変化の様態、遷移・適応・馴応の概念／11 人類と生物との共生の概念／12 「七難」、「三毒」、「二求」の環境システム

#### 二 災とは何か。自然災害と人為災害を考える

1 災害、防災、そして防災学とは／2 災とは：東洋の智慧から考える／3 災害の分類／4 自然災害の概要／5 人為災害の概要

#### 三 安心・安全・利便国土・「地域づくり」を目指して

1 環境問題の推移と時代区分／2 地域環境問題と地球環境問題／3 人為(人間の活動)と環境との3つのインターフェイス／4 土木工事と手術のアナロジー

#### 四 環境防災学の理念と枠組み

1 環境防災学に求められている2つの側面／2 環境防災学の理念と枠組み／3 環境防災学を究める3つのアプローチ／5 環境マネジメント／6 防災マネジメント／7 環境防災テクノロジー

#### 五 環境防災学の構築に向けて

1 環境は何で感知するのか／2 仏教観に見る六根・六境・六識の概念／3 六感の環境学／4 環境の指標／5 環境問題のスケールを考える：空間スケールと時間スケール／6 環境を正しく測る：フロー値とストック値／7 環境容量と持続可能な開発

#### 六 東日本大震災と福島第一原発事故

1 超巨大地震の特徴／2 備えあれば災い少なし／3 戦後最大の国難—日本人の遺伝子を覚醒させた大震災

#### おわりに—環境防災学の誕生

申込先 技報堂出版営業部 〒102-0051 東京都千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル  
FAX 03-5217-0886 TEL 03-5217-0885

切取線

注文票

■本注文票の取扱いを書店では行いませんのでご注意ください。

■購入をご希望の方は 本注文票に必要事項をご記入のうえ ファックスまたは郵送にて技報堂出版営業部までお申し込みください。必要書類を添付のうえ 技報堂出版より直送します。

<b>環境防災学</b> —災害大国日本を考える文理シナジーの実学—	著者紹介価格2,800円(税・送料込)[定価3,150円] 5部以上ご購入の場合 1部2,600円(税・送料込)	注文部数 部
お名前(法人の場合は 所属名もご記入ください)		
ご送付先 〒	お電話番号	

【必要書類】 見積書 通 / 納品書 通 / 請求書 通